

2026 年 9 月 11 日
日本郵便株式会社

島根県大田市で「大田市日本遺産デジタルスタンプラリー」を開催 ～日本遺産の魅力をつなぎ、周遊促進と地域の賑わい創出を推進～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長 小池 信也／以下「日本郵便」）は、大田市日本遺産推進協議会（島根県大田市、会長 船木 三紀夫／以下「協議会」）が実施する「大田市日本遺産デジタルスタンプラリー^{（注1）}」の業務を受託し、本施策の運営を行います。

大田市内の日本遺産の構成文化財などを巡っていただくことで、地域内の周遊を促進するとともに、歴史・文化・自然に触れながら、「パワースポット」をテーマに地域の魅力を体感いただける観光の機会づくりを支援します。



1. 背景・目的

現在、地域の賑わい創出において、「観光」は重要な入り口となっています。一方で、従来の紙によるスタンプラリーなどでは、参加者がどのような順番で地域を巡ったのかを把握しにくく、施策後の再訪や継続的な関係づくりにつなげることが難しいという課題があります。

島根県大田市は、島根県の中央部に位置し、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」や三瓶山周辺の自然・文化資源など、多様な魅力を有しています。市内には、龍源寺間歩や熊谷家住宅などがある大森銀山地区、三瓶小豆原埋没林公園といった日本遺産の構成文化財をはじめ、歴史・文化・自然の魅力が点在しており、地域全体を巡ることで、その魅力をより深く体感していただけたと考えています。

日本郵便は、本施策の運営を通じて、こうした地域資源をより多くの方に親しみやすく伝えるとともに、地域内周遊の一層の促進を支援します。大田市を初めて訪れる方に地域の魅力を知っていただくきっかけづくりや、市内施設への来訪促進、観光体験の向上を後押ししてまいります。あわせて、施策後の継続的な情報発信を通じた関係づくりにもつなげてまいります。

2. 施策概要

名 称	大田市日本遺産デジタルスタンプラリー
開 催 期 間	2026 年 9 月 18 日（金）～同年 12 月 13 日（日）
対 象 エ リ ア	島根県大田市
ス ポ ッ ト	約 15 カ所（日本遺産の構成文化財など）
参 加 方 法	スマートフォンで各スポットに設置された二次元コードを読み取り、表示される案内に従って島根県大田市の LINE 公式アカウントを友だち追加した上で、デジタルスタンプを取得
参 加 費	無料（期間中の参加は各スポット 1 回まで） ※スタンプ取得などに伴う通信料は、参加者さまのご負担となります。 ※一部スポットでは、入館料などが別途必要となる場合があります。
特 典	地域特産品など
Web サイト	https://www.sushitop.io/29nftstamprally/template/index.html?configId=oda-a-digital-stamprally-2026/config
そ の 他	本プレスリリースの発信に併せて、「大田市日本遺産デジタルスタンプラリー」のスタートスタンプを配布。 ぜひ、以下 URL または二次元コードからお受け取りください（注 2） https://go.sushitop.io/?id=oda-digital-stamprally-2026/out-of-city 

3. 日本郵便が運営するデジタルスタンプラリーの特長

(1) 日本遺産を軸とした周遊促進

日本遺産の構成文化財などを巡ることで、地域全体の歴史・文化・自然の魅力に触れていただく機会づくりを支援します。個々の施設や景観を点で楽しむだけでなく、地域全体を面的に巡ることで、日本遺産のストーリーをより立体的に体感いただける周遊施策として活用できます。

(2) 周遊状況のデータ化と活用

紙のスタンプラリーでは把握が困難だった参加者の移動傾向を、個人情報を取得しない匿名性を保ったデータとして蓄積し、自治体や事業者が今後の観光施策の参考として活用できる仕組みとしています。どのスポットが選ばれやすいか、どのような順番で巡られているかといった傾向の把握を通じて、情報発信や周遊促進施策の改善を支援します。

(3) 参加ハードルの低さと継続的な関係構築

専用アプリは不要で、LINE と二次元コードの読み取りのみで手軽にご参加いただけます。観光客の方が現地で気軽に参加しやすい仕組みとし、施策終了後も情報発信を通じて、イベントや観光情報、地域の魅力を継続的に届けることで、地域との継続的な接点づくりを後押しします。

(4) 郵便局ネットワークを活用した周知

郵便局のネットワークを活用し、本施策の周知や地域の魅力発信を行うことで、地域への来訪促進を後押しします。地域に根ざした郵便局ならではの接点を生かし、大田市の日本遺産や周遊の魅力を、より多くの方に知っていただくきっかけづくりを支援します。

4. 今後の取り組みと展望

本施策では、デジタルスタンプラリーによる周遊促進に加え、取得した動態データを次なる観光施策やプロモーションの改善に活かすことで、観光を通じた地域社会の活性化に貢献してまいります。

今後は、こうしたリアルとデジタルを組み合わせた仕組みを、地域の特性に応じた観光施策や地域活性化の取り組みに生かしながら、自治体や事業者の皆さまと連携して展開してまいります。

今後も日本郵便は、このような取り組みを通じて地域社会の生活基盤を支え、持続可能で魅力ある地域づくりに伴走してまいります。

【注釈】

- (注 1) 本施策のデジタルスタンプには、デジタルデータに唯一性を付与する NFT（非代替性トークン）技術を活用しており、安全かつ匿名性を保ったデータ蓄積を実現しています。
- (注 2) 島根県大田市が運営する LINE 公式の画面に遷移しますので、友だち追加後、デジタルスタンプを受け取ることが可能です。
- デジタルスタンプの受け取りはスマートフォンのみ可能です。

【参考：プレスリリース・お知らせ】

- ・ NFT を活用した実証実験（地域共創 NFT プロジェクト）の開始～石見銀山エリアにて第 1 弾スタート～（2025 年 1 月 9 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/71437688107.html>
- ・ 地域共創 NFT プロジェクトの一環で NFT を活用した石見銀山デジタルスタンプラリースタート！（2025 年 3 月 26 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/68402948114.html>
- ・ 東松島市との NFT を活用した新たな観光体験プロジェクトの実施～地域共創 NFT プロジェクト第 2 弾～（2025 年 7 月 24 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/546135815.html>
- ・ 石見銀山エリア（島根県大田市）での地域共創 NFT プロジェクトに関するお知らせ（2025 年 7 月 29 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/555906019758.html>
- ・ 島根県石見地域および島根県益田市でデジタルスタンプラリーを同時開催！
～石見地域・日本遺産の観光を通じた地域活性化を目指して～（2026 年 1 月 8 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/749740232.html>
- ・ 島根県石見地域で「石見周遊デジタルスタンプラリー」を開催！
～観光施設と「食・神楽」のイベントを組み合わせ、持続可能な地域共創モデルを推進～（2026 年 8 月 24 日）
<https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/958267396496.html>

以 上

【お客さまのお問い合わせ先】 日本郵便株式会社 地域共創プロジェクト事務局 <jp_local_co-creation_project.ii@jp-holdings.jp>
